

知っておきたい保険のはなし

猫劇場

～地震の備え、今できること 編～

じゅじゅ
寿寿
しっかり者の
お姉さん猫



はっば
わがまま、
気まぐれな
妹猫

知っておいたら役に立つ保険の知識。でも、難しくてよく分からない…。そんな保険のおはなしを、寿寿とはっばが分かりやすく解説します。

監修／アストのほけん



能登地方を震源とする地震により、大きな被害が出てしまったわね。まだまだ日常生活を取り戻せていない方も大勢いらっしゃると思います。被害を受けられました皆さまに、心からお見舞い申し上げます。



災害は、お正月でも何でも待たなしね… こんなの、あまりにひどいじゃない。



本当に… あとね、「災害関連死」っていう、悲しい事実もあるの。災害関連死っていうのは、建物の倒壊などの災害の被害によって直接亡くなるのではなく、避難所で病気の発症や持病の悪化などで間接的に亡くなること。特に地震の場合は、地震による建物の倒壊などで亡くなるよりも、災害関連死で亡くなる方が多くなっているんですって。令和2年9月の最新データでは、3,767人の方が災害関連死で亡くなっていて、そのうち3名は長野県の方。



災害関連死？初めて聞いた… 悲しいにゃ。詳しくは、どんな？



原因は様々だけれど、多いのは

- ①同じ姿勢でいることの多い車中泊や避難所での生活が原因のエコノミークラス症候群
- ②地震のストレスからのうつ病
- ③水不足で持病の透析治療が困難になった
- ④環境変化によるストレス

などが挙げられているわね。避難生活になってしまうと、避難所の環境が過酷でも、そこに居るしかないからね。それに、元々住んでいた場所のコミュニティが失われてしまっている訳だから、ストレスは大きいわ。



辛いわねえ…。いつ自分が避難生活になるかなんて、みんな分かんないもんね。備えは、ちゃんとしとかなないとってことよね。



勿論！それと、大切なのは情報。今回の震災でも、様々なデマが飛び交っていたでしょう？正しい情報の入手が、自身の身を助けるわ。



あー！あったわよね、フェイクニュース騒動!!!
災害の時って、必ずこの手のことが起こるのよねえ…。



そうでしょう？そのほかにも、お風呂や食料・支援物資提供の情報。「あそこでやっているなんて知らなかった！」なんてことが多かったみたい。そういう地元の情報を得るのに適しているのが、ラジオ。SNSの情報も良いけれど、誤情報も多いのが難点よね。ラジオは市町村が発信する情報だから正確。それに、テレビよりピンポイントで地元の情報が得られるわ。



そっかあ。知らないって怖いわね。スマホでラジオが聴けるアプリもあるらしいじゃない？緊急時のために、ダウンロードしとくのもいいかも！



そうね。あとは、やっぱり大切なお金の話。
地震保険に加入していないと、地震被害では「何も」買えないの。地震が原因での火災では、火災保険は受け取れないからね。



何も買えない… 家が無くなってるのに、何も買えないって、怖すぎにゃ…。



そうよね。地震保険は、家財がポイントともいえるの。諏訪地域は、津波の心配はいらないでしょう？地震で家がベシャンコになる確率も、さすがにそこまで高くない。でも、液状化や地滑りの確率はととても高い。家そのものが無事な場合でも、真っ先に被害を受けるのって家財なの。基本的に、地震保険は火災保険の半分しか補償されない物なんだけれど、保険会社によっては100%補償の商品も存在するわ。



地震… 考えれば考えるほど怖いにゃ。しっかり調べて、備えなくっちゃ!!